

- 団体名:特定非営利活動法人 体験型未来づくりネット
- 所在地:〒960-8133 福島県福島市桜木町2-12
フィオーレ桜5-701
- TEL/FAX:024-533-8180
- E-mail:miraizukuri@mirror.ocn.ne.jp
- URL:<https://miraizukuri.jimdo.com/>

以下は11月29日(水)福島会場でのプレゼン資料です



特定非営利活動法人 体験型未来づくりネット



発表者:西川 恵子/西川 志保

●設立のきっかけ

東日本大震災

未曾有の大震災に未経験への恐怖とライフラインの寸断と想像を絶する時に遭遇し、見えない不安に怯えていたあの時から絶望の淵に立たされた孤独な心が呻き苦しんだ1年間、誰の心にも新しい想いの命が芽生えたはず、誰もが手を差し伸べあい支え合い生きる事を望んだはず、忘れないで命の尊さを尊厳を！誰も限りある命幸せで有って欲しいと願うばかり。これ以上の犠牲が有ってはならないと、心に深く刻み支援活動を立ち上げました。



●団体の目的

複合施設の建設

「ちいきの茶の間オープンハート」

地域ぐるみのコミュニティ拠点

孤立・孤独死防止強化

介護離職の課題解決

・誰もが幸せな人生を送る為の生活総合支援・相談と解決を目的とし、常設の相談所・宿泊施設運営で生活支援と自立支援を目的とする。



私たちの思い、考え

▶地域の課題

子育て期・介護期の 30代～50代のあなたと供に

課題1 超高齢化・少子化時代を迎えて将来への不安を抱えながらも子育て期と介護期が重複する等若者世代への負担は重く、介護離職を考えざる得ない現実と終了後の再就職の厳しさは生活の圧迫等の引き金ともなる、対策方法は重要な課題となる。

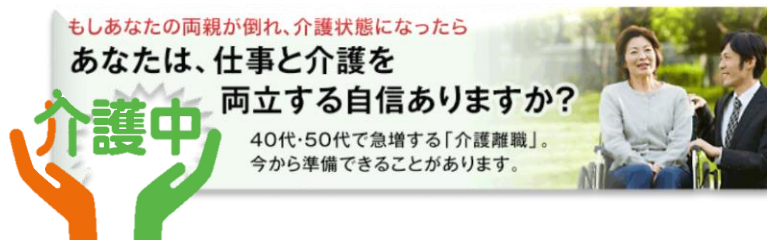
課題2 入居施設不足は大きな地域課題であると考えます。

課題3 放課後又は一時こども預り常時・緊急時を含めこども預りは共働き世代の重要な課題である。

もしあなたの両親が倒れ、介護状態になったら
あなたは、仕事と介護を
両立する自信ありますか？

介護中

40代・50代で急増する「介護離職」。
今から準備できることがあります。



●目指す地域の姿

課題1 50代からのアクティブシニアを中心に
地域ごとのボランティア及び
有償ボランティア人員の育成

課題2 小規模複合施設の開設
地域ぐるみの生活支援態勢づくり

課題3 家族単位から地域単位の子育て支援
へ移行、地元貢献を目指す。





活動紹介

シェアハウス オープン・ハート湯野



高齢者・介護2人入居可能 訪問介護制度摘要

- ・身寄りがない
- ・ひとり暮らしが不安

自立支援型



緊急一時こども預り

- ・父母の入退院時
- ・父母の精神疾患時
- ・およばれの日
- ・美容室や買い物時
- ・休日なのに仕事が休めないとき等々

シェルターハウス オープン・ハート瀬上



18歳～60代迄入居可能



常時・生活再建相談業務や講演会大和田新氏と供に郡山・福島・伊達・須賀川にて
国交省平成28年度冊子に掲載されました。

協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

- 困っていること
- 要配慮者の方々への支援の為に収益性は低くまた、運営資金や業務拡張時並びに人員の確保に供する助成金等がなく困っている
- ボランティア協力者が探せない
- 送迎用の車両の確保
- サロンの早期開設



企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- 企業と協働したいこと
- 施設建設の協同
- 施設建設への資金協力
- メーカー協賛品の提供
(食品・備品・車・情報提供等)
- 協同企業職員の方々への施設利用案内
- 弁護士或は司法書士との協同
- 葬儀社との協同



企業に向けてメッセージ

- 少子高齢化時代を向かえ子育て世代の**両親介護と子育て期の重複**による様々な課題がクローズアップされてきています。その様な時代背景の中、国策として家庭での介護を推奨**介護離職**が多く求められてきますが、介護修了後の再就労は厳しいものが有り生活の圧迫が懸念されることから「**地域密着小規模自立支援型シェアハウス**」は現状の施設入居待ち数からしても重要な施設として有効に活用できることが期待できます！更には企業様のご家族やご親族ご友人等々同じ悩みを抱えておられる皆様にも貢献。
- **企業様専属のシェアハウス開設も望みたいと考えます。**

企業と共に地域に生きる

NPO法人体験型未来づくりネット

地域貢献